



眉山クラブ
まつい だいすけ
松井 大助 議員

新型コロナウイルスのその後

Q 新聞報道等では、かかりつけの病院で医師が必要と認める場合はPCR検査を受けられるとのことだが、費用等はようになってくるのか。また、希望すれば誰でも受けられるのか。

A 県医師会では、地域のかかりつけ医でPCR検査ができるよう、県や長崎市、佐世保市と契約を結び、医師が総合的な判断に基づき必要と認めた場合は、検査ができる体制を順次整備していくとのこと。検査ができる医療機関は感染の疑いがある患者と一般の患者の動線を分けるなど感染防護対策を行う必要がある。全ての医療機関で検査ができるというわけではないようである。検査は保険診療で実施されるため、初診料約千円に加え、動線の確保など現状に合わせて幾らかの費用が上乗せになる。8月中旬より検査体制が整った医療機関から検査を実施されているが、現在、市内では検査している医療機関の報告はなく、今後、検査ができるようになって医療機関名は非公表の扱いと聞いている。

Q 連日、東京、大阪、神奈川、福岡では3桁の感染者数が出ているが検査の対象はどういう人たちなのか。

A 息苦しさや強いだるさ、高熱などの強い症状がある方、発熱や咳、風邪の症状の続く方で、医師の判断により検査が必要とされた方及び検査の結果が陽性となった方の濃厚接触者等が検査の対象となる。

Q 本市は観光都市なので様々なところからお見えになる。フェリー乗船時には簡単に検温ができると思う。運航会社への協力要請はどうか。

A 手指消毒液の設置や換気、船内の消毒、体温計の貸し出しなど、運送事業者としてガイドラインに沿った予防対策がとられている。

ゆーの湯の歩行湯

Q 昨年4月ごろより休止になり、まだ再開に至っていないが、理由は。

A ろ過装置に不具合が見られ、多額の修繕費が見込まれることから使用を休止している。ここ数年、1日当たりの平均利用者は10人程度なので、使用頻度の高い機器などを優先して修繕している。オープンから12年経過しており、老朽化が進み施設全体の修繕箇所が多くなっている。

【その他の質問項目】

◇温水プールの存続について



バラの会
まつさか まさお
松坂 昌應 議員

GIGAスクール構想

Q 児童生徒一人一台のパソコン貸与は自宅に持ち帰るのが前提か。リモート授業を想定しているのか。

A 当初は令和5年度までに整備する計画で学校内の活用を想定していた。このたび急遽本年度中に配備することとなり、最終的には家庭学習・オンライン双方向授業も目指すことになる。

Q ネット環境が整っていないなどの理由で取り残される家庭が無いよう配慮を願いたい。

Q 国道県道の交差点等にポラード（杭）設置の経緯は。

A 令和元年に大津市の交差点で、信号待ちをしていた児童園児らの列に車が突っ込み死傷する事故を受け、安全点検後、県が設置した。

歩行者に優しい街の歩道整備

Q 利用するのは市民、こうした機会に歩道をもっと歩きやすく改修できなかつたのか。

A 県に改修後の設置を提案したが、変更できなかった。その後も県に要望している。

ジオアワビ死滅は防げなかつたのか

Q 塩分低下の原因となった豪雨の日の諫早湾干拓調整池排水門からの排水量は。

A 約6600万トンの淡水が排水されたと伺っている。

Q 2年前の豪雨時も、調整池大量排水時に小長井でタイラギが死滅した。県は事前に大量排水を通告しないのか。

A 確認をしていない。

【その他の質問項目】

◇進む情報技術（ICT）

◇コンパクトシティ島原の基本インフラ

◇市役所駐車場問題（有料ゲート式駐車場を設置すべき）